



楽しみながら健康・福祉に関心を高めてもらおうと、第2回うるみん健康・福祉まつりが、12月5日・6日、健康福祉センター「うるみん」で開催されました。まつりでは、障がい者厚生施設・作業所の作品即売、点字体験コーナー、温水プールの無料開放など行われました。また、ステージでは保育園児によるエイサーなど多くの団体が多彩な演目を披露しました。



第2回うるみん健康・福祉まつり

地域で支えあい築こう健康と福祉の輪

## 今年も甘い「あまSUN」が実りました

### 2009年 あまSUN収穫祭

うるま市が拠点産地認定を受けているみかん「あまSUN」の収穫祭が、字平良川の農園で開かれ、市長ら関係者が、はさみ入れを行いました。あまSUNは、品種「天草」の県産ブランド名で、中北部を中心に生産され、年末年始の贈答品として人気の高いみかんです。今年は、少雨傾向が続いたため、例年よりもやや小玉となっていますが、台風被害がないことから果実の着色、糖度共に良好で、風味豊かな仕上がりとされています。



あまSUNの収穫を祝い、はさみ入れを行なう関係者

## 受け継がれる島の伝統行事

### 伊計の豊年祭・比嘉のウファアシビ

11月21日から23日までの3日間、浜比嘉島と伊計島に伝わる島の伝統行事が、区民総出で行われました。12年に一度、丑年に開催されるという勝連比嘉区の慣例大踊り（ウファアシビ）は、死者を埋葬場所まで運んだ葬具「籠」や拝所の修復に合わせて催されていた伝統行事で、琉舞、棒術、組踊など多彩な演目が披露されました。

また、与那城伊計の豊年祭は、豊年豊漁を祈願し、5年に一度執り行われる伝統行事で、組踊りや棒術、琉舞などが披露されました。

右：伊計島の豊年祭の様子



左：比嘉区のウファアシビの様子